

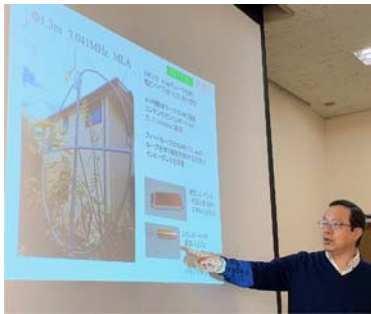
MLA48

NEWS
LETTER

2019年2月24日
No.156

MLA48プロジェクト

🕒 2月度合同ミーティング(MLA48 通算第110回)



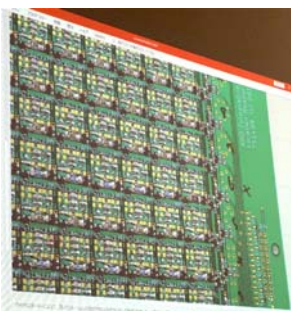
2月23日(土), 長津田地区センターで [JHIYMC 横浜みどりクラブ](#) 第六十八回アンテナ製作プロジェクトと [MLA48 プロジェクト](#) 合同ミーティングを開催。 [JIICAX 澤田さん](#)の「 ϕ 1.3m MLAを使ったFT8運用実験」は、10C-FBを利用したメインループです。コンデンサは銅箔と発泡ポリエチレンを積層、真鍮パイプとリン青銅を内側に取り付けたスチロールパイプで可変Cを製作。住宅に囲まれた環境に数m高でほぼ国内全域とQSOできています(5W)。同じ局で比較すると、短縮ダイポール(HFV5)に切り替えた信号は-20dB, MLAは-07dBなので、かなり良好でした。 [JA1UHJ 服部さん](#)は、[アナデバのDSP ADAU1701](#)を使ったPSNタイプ SSB TX ベースバンド処理の [開発ツールSigma Studio](#)をデモ。画面でブロック線図を入力するだけでプログラミングは不要です。即座に動作確認できて驚き。



[7K1JFE 葛島\(かどしま\)さん](#)は、UHF帯RFIDタグのリーダを自作。多くの部品類にタグを付けて探そうという計画。リーダは高価なので、arduinoをベースに自作。シールドbox内で動作を確認できました(右写真)。プチ講演は「ロケーションリーダ(100サンプルを同時処理)」と題し、[東京大学の小林芳直先生](#)に、HF帯のRFIDタグ開発と、そのMLA版の改良についてもお願いしました。[1月のミーティング](#)では、仕組みを超駆け足でご紹介いただきましたが、当日は時間切れになってしまったので、



今回はタププリご講演いただきました。マイクロバンクに詰められた100個のサンプルを正しく読み取る技術は奥が深く、リレー+ダイオードマトリックス方式 → 定電流ダイオード+DM方式 → RFC+DM方式へと、ご苦労された過程は感動もの。基板にびっしりのDM(左写真)にはみなさん見入ってフリーズしました、hi。



小林先生は、[KRDコーポレーションのSIMSAFE](#)も開発されており、先月のミーティング後にリーダやタグアンテナをMLA化して、改良を確認されています。

DE JG1UNE

